【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2005-323687(P2005-323687A)
【公開日】平成17年11月24日(2005.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2005-046
【出願番号】特願2004-142692(P2004-142692)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｆ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ａ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１４Ｇ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月19日(2007.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
即ち、目押し習得者は、上から下に向かって変動表示する図柄を目押しすることに慣れているため、変動表示方向が上から下に向かう方向とは異なる方向に変化すると、目押しによって、図柄を特定図柄で停止表示させることが難しくなる。このため、目押し習得者であっても、特定遊技権利が発生してから特定遊技が提供されるまでに費やすゲーム数（図柄の停止表示を行なった回数）が多くなる。従って、当該遊技機において、目押し習得者が、特定遊技権利が発生してから少ないゲーム数（図柄の停止表示を行なった回数）で図柄を特定図柄で停止表示させることができた場合には、喜びを得ることができる。即ち、目押し習得者の遊技中の興趣を向上させることができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９７】
即ち、目押し習得者は、上から下に向かって変動表示する図柄を目押しすることに慣れているため、変動表示方向が上から下に向かう方向とは異なる方向に変化すると、目押しによって、遊技図柄をＢＢ入賞組合せ（ＲＢ入賞組合せ）で停止表示させることが難しくなる。このため、目押し習得者であっても、ＢＢ抽選（ＲＢ抽選）に当選してからＢＢゲーム（ＲＢゲーム）が提供されるまでに費やすゲーム数（遊技図柄の停止表示を行なった回数）が多くなる。従って、当該遊技機１において、目押し習得者が、ＢＢ抽選（ＲＢ抽選）に当選してから少ないゲーム数で遊技図柄をＢＢ入賞組合せ（ＲＢ入賞組合せ）で停止表示させることができた場合には、喜びを得ることができる。即ち、目押し習得者の遊技中の興趣を向上させることができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１６２

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１６２】
即ち、目押し習得者は、上から下に向かって変動表示する図柄を目押しすることに慣れているため、変動表示方向が上から下に向かう方向とは異なる方向に変化すると、目押しによって、遊技図柄をＢＢ入賞組合せ（ＲＢ入賞組合せ）で停止表示させることが難しくなる。